

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

リンテック株式会社（証券コード:7966）

【変更】

長期発行体格付 A → A+
格付の見通し ポジティブ → 安定的

【据置】

国内CP格付 J-1

■格付事由

- (1) 粘着関連製品のトップメーカー。剥離剤・粘着剤の開発から塗工までを総合的に手掛けていることが強みである。食品・日用品向けラベルや封筒に用いる洋紙類など安定した需要が見込める用途先を機軸として、自動車や半導体といった成長が見込める分野にも展開している。印刷材・産業工材事業の強化に向け、17/3期に買収した欧米子会社3社とのシナジー創出に取り組んでいる。一方、ウインドーフィルムなどを手掛けるマディコ社は赤字計上が続いているため、人員削減などの経営合理化を行っている。
- (2) 業績は堅調に推移している。半導体や積層セラミックコンデンサ（MLCC）の旺盛な需要などを背景に、近年、電子・光学事業が好調に推移している。洋紙類などの安定した需要、印刷材・産業工材での経営合理化効果などもあり、過年度に比べて高水準の利益を安定して確保できるようになってきた。また、財務構成は良好で、引き続き、高い健全性を維持できると考えられる。以上を踏まえ、格付を1ノッチ引き上げ、見通しを安定的とした。
- (3) 18/3期営業利益は200億円（前期比21.1%増）となり、過去最高だった11/3期（208億円）に次ぐ水準となった。電子・光学事業は液晶ディスプレイ関連粘着製品が販売単価下落の影響を受けたが、半導体用・MLCC用関連テープの販売がスマートフォンに加えて自動車など幅広い用途で好調に推移した。19/3期営業利益は230億円（同14.5%増）と8期ぶりに過去最高を更新する計画である。電子・光学事業の業績が引き続き堅調に推移する見通し。マディコ社も固定費削減や不採算事業からの撤退を実施しており、採算改善が進むとJCRでは見ている。
- (4) 18/3期末の自己資本比率は63.4%、DER（金融債務ベース）は0.11倍など良好な水準にある。また、05/3期末以降、実質無借金の状態を維持している。欧米子会社3社の買収に伴い、17/3期末の有利子負債は増加したが、18/3期末では減少に転じている。中期経営計画（18/3期～20/3期）では、設備投資313億円（前3ヵ年318億円）を計画している。キャッシュフロー創出力を考慮すれば、引き続き、良好な財務内容を維持可能と考えられる。

（担当）藤田 剛志・川越 広志

■格付対象

発行体：リンテック株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年5月14日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：湊岡 由典
主任格付アナリスト：藤田 剛志
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「化学」(2012年3月26日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) リンテック株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル